



日時:2014年11月12日(水)~18日(火)
10:30~19:00 (土・日曜日は18:00まで)※入場無料
場所:近畿大学中央図書館 2階 第1演習室

- * - * - * - * - * - * - * - 展示目録 - * - * - * - * - * - * - * -

➤ 古代文書

パピルス原葉(ギリシア文字)断片 182年

パピルスとは、おもにナイル河流域の湿地帯に生育した大型のカヤツリグサ科の一種の多年草。紙がヨーロッパに伝わる12世紀頃までの約4,000年間、羊皮紙とともに書写材料として使われていた。

Graeco-Egyptian Papyrus, 182.

シュメール粘土板文書 紀元前2028年

粘土板文書は、おもに楔形文字を記すために粘土でつくられた板状の書材。保存に適しているという利点はあったが、重くて持ち運びが大変だったため、やがてパピルスや羊皮紙に代わっていった。

A Sumerian clay tablet relating to Drehem document, B.C. 2028.

自心印陀羅尼経および木製小塔 神護景雲4(770)年

通称、百万塔陀羅尼。塔身の中に、無垢浄光大陀羅尼経を出典とする陀羅尼が1塔に1巻ずつ収められている。東大寺・法隆寺・四天王寺などの十大寺院に各10万基もの膨大な数が寄進された。

➤ インキュナブラ

グーテンベルク印行 『四十二行聖書』(原葉1枚) マインツ 1455 - 56年

「グーテンベルク聖書」として有名な鉛-錫合金活字を使って印刷された西洋最初のラテン語聖書。現在、存在が確認されているのは不完全なものも含め50部たらずである。

Gutenberg, Johanul Henne, ca. 1394(-99) - 1468. An original Leaf of the Gutenberg Bible. Mainz. about.1455-56.

アウグスティヌス 『神の国』 シュトラースブルク 1468年以前

キリスト教神学上最も重要な文献の一つ。中世最初の歴史哲学書であると言われている。
Augustinus, Aurelius, Bishop of Hippo, 354-430. *De civitate dei* (Comm : Thomas Waleys and Nicolaus Trivet). [Strassburg: Johann Mentelin, not after 1468.]

トマス・アキナス 『神学大全』 マインツ 1471年

中世スコラ哲学の大成者トマス・アキナスが晩年に書いた神学的、哲学的体系の書。
Thomas, Aquinas, ca. 1225-1274. *Summa theologiae: Pars secunda: prima pars*. Mainz : Peter Schoeffer, 8 Nov. 1471.

ユークリッド 『幾何学原論』[インキュナブラ] ヴェネツィア 1482年

1482年にラテン語訳としてヴェネツィアで刊行された最初の印刷本。幾何学的図形を伴って印刷された最初の本格的な本といわれ、以後の数学書のモデルとなった。

Euclides (ca. B.C.330 - 275). *Elementa geometriae*. Tr:Adelardus Bathoniensis. Ed:Johannes Campanus. With dedicatory letter by Erhard Ratdolt to Giovanni Mocenigo. Venice: Erhard Ratdolt, 25 May 1482.

➤ 特別展示：地理書

プトレマイオス 『地理書』 ヴェネツィア 1511年

プトレマイオスの地理書や世界図は、ヨーロッパ各地で刊行された。本書にはハート型投影図法が用いられた世界図が挿入されている。その中で日本は極東の大島“ZAMPAGU.INS.”と表記されている。

Ptolemaios, Klaudios, (生没年不詳). *Clavdii Ptholemaei Alexandrini Liber geographiae cum tabvlis et vniversali figvra et cum ad ditione locorum quae a recentioribus reperta sunt diligenti cura emendatus et impressus*. Venetiis: Iacobum Pentium de Leucho, 1511.

オルテリウス 『世界地図帳』 アントワープ 1579年

世界で初めて出版された近代的世界地図帳。1595年版には日本地図が加えられており、その地図がヨーロッパで最初の日本地図とされている。

Abraham Ortelius, (1527-1598). *Theatrum orbis terrarum*. Antverpiæ: Christophorum Plantinum, 1579.

➤ 特別展示：西洋古版地図(5枚)

作者不明 マルコ・ポーロの東方旅行に基づくアジアおよびアフリカ図 (1790頃)

オルテリウス/テイセラ 「日本図」 1595 ホンディウス 「日本図」1607-13

マルティニーニ 「日本」 1655 コロネリ 「日本」 1692

➤ 日本文学

紀友則ほか奉勅撰 『古今和歌集』 全20巻2冊 [嘉禄本] 鎌倉後期頃書写

平安時代前期に編纂された最初の勅撰和歌集。本書は、藤原定家校訂本(定家本)系統の伝本のうち、嘉禄2(1226)年書写の嘉禄本系統の書写本である。

『伊勢物語』 奈良絵本 全2巻2冊 江戸前期頃写

平安時代前半に成立した歌物語。奈良絵本とは、室町時代末期から江戸時代前期にかけて、公家・武家や新興の町人層の婦女子を対象に作られた濃彩色絵入の写本をいう。

『萬葉集』 全20巻20冊 洛陽 寛永20(1643)年刊

成立現存最古の和歌集。本書は、「寛永本」と呼ばれる刊本で、万葉集が幅広い層に広まるきっかけとなり、江戸時代以降の万葉集研究において、昭和30年代後半まで長く底本として大きな影響を与えた。

紫式部 『絵入源氏物語』 30冊 万治3(1660)年刊

『源氏物語』は54巻からなる長編物語。『絵入源氏物語』は、『源氏物語』の写本や注釈書を集・研究していた江戸時代前期京都の蒔絵師初代山本春正が、初学者のための絵入本の出版を計画したものの。

井原西鶴 『好色一代女』 全6巻6冊 大坂 貞享3(1686)年刊

『好色一代男』に対抗する女性の好色一代記で、西鶴初期好色物の代表作。上昇し続けた「一代男」の好色生活と違い、「一代女」が宮仕えから街娼にまで身を落とす様を描いている。

『唐詩選畫本』 全7巻35冊 江戸 寛政3(1791)–天保7(1836)年刊

中国の明代に編まれた唐詩の選集。清代初めには初学者のテキストとして盛んに活用された。展示本は、五言絶句編で、天明8(1788)年に刊行されたものの文化2(1805)年再刻本。

➤ 西洋文学

ダンテ 『饗宴』 [インキュナブラ] フィレンツェ 1490年

『饗宴』は、『神曲』の執筆前、亡命生活初期の1304–07年頃に執筆されたと推定される。15篇からなる膨大な作品になる予定であったが、4篇のみで未完に終わった。

Dante Alighieri, 1265-1321. *Convivio di Dante Alighieri fiorentino*. Firenze: Francesco bonaccorsi, 1490.

シェイクスピア 『喜劇、史劇、そして悲劇』 フォース・フォリオ ロンドン 1685年

1作ずつ刊行されていた戯曲をまとめた初の全集が、フォリオ(二つ折)本と呼ばれる大型本として出版された。フォリオ本は、1623年のファースト・フォリオ(第1版)からフォース・フォリオ(第4版)まで出版された。

Shakespeare, William, 1564-1616. *Mr. William Shakespeare's comedies, histories, and tragedies, published according to the true original copies, unto which is added, seven plays, never before printed in folio : the fourth edition*. London: H. Herringman, E. Brewster et al., 1685.

マロリー 『アーサー王の死』 チェルシー 1913年

アーサー王の誕生から死まで、その生涯を物語った作品。アーサー王伝説として中世ヨーロッパ全土で親しまれた。本書は、プライベート・プレスのひとつ、アシェンデンプレスで制作されたもの。147部限定。

Malory, Thomas, Sir, 15th cent. *Le Morte d'Arthur*. Chelsea [London]: The Ashendene Press, 1913.

ウマル・ハイヤーム 『ルバイヤート』 ロンドン 1887年

詩集『ルバイヤート』は、フィッツジェラルドの英訳によって英米で大流行した。展示本は羊皮紙に印刷されたもので、装丁はバインタン・リヴィエール社による宝石本。

Omar Khayyam, 1048-1131. *Rubáiyát of Omar Khayyám, the astronomer-poet of Persia, translated into English verse*. London: Bernard Quaritch, 1887.

➤ 世界のなかの日本

マルコ・ポーロ 『東方見聞録』 仏訳初版 パリ 1556年

25年間に渡ってシルクロードを中心として巡った大旅行記であり、かつ地理書の要素も多い。1298年の原本は早くに散逸したが、それを基にした多数の言語に訳出された諸本が残った。Polo, Marco, 1254-1324. *La description géographique des provinces & villes plus fameuses de l'Inde Orientale, meurs, loix, & coutumes des habitans d'icelles, mesmement de ce qui est foubz la domination du grand Cham Empereur des Tartares*. A Paris: Pour Estienne Groulleau, demourant en la rue neuue Nostre dame, à l'image saint Iehan Baptiste, 1556.

デ・サンデ 『天正遣欧少年使節見聞対話録』 マカオ 1590年

1582(天正10)年、4人の少年使節が九州のキリシタン3大名の名代としてローマ法王庁へ派遣された。本書は、使節の公式記録・日記等に基づいた対話形式の見聞録。グーテンベルク印刷機を用いてマカオで出版したもの。

Sande, Eduardes de, 1547-1599. *De Missione Legatorum Iaponensium ad Romanam curiam, rebusque in Europa, ac toto itinere animadversis dialogues*. In Macaensi portu Sinici regni: In domo, Societatis Iesu cum facultate Ordinarii, & Superiorum, anno 1590.

トルセリーノ 『聖ザビエルの生涯』 仏訳 デウエ 1608年

トルセリーノの『聖ザビエルの生涯』、はザビエルの伝記として最も早くに著されたものである。Turselin, Horace, 1545-1599. *La vie dv bien-hevreux pere Francois Xavier : premier de la Compagnie de Iesvs, qui a porte l'Évangile aux Indes, & au Japon*. A Dovay: De l'Imprimerie de Baltazar Bellere, au Compas d'or, 1608.

フロイス 『関白秀次の最期の次第(1595年の事件報告書)』 ローマ 1598年

豊臣秀吉と甥の秀次の不和の原因、確執の経緯、秀次の行状、死にいたる顛末などを詳細に述べ、その死を報じた書簡で、フロイスが1595年度の年報の補遺として、長崎よりイエズス会総長宛に発信した。

Frois, Luisi, 1532-1597. *Ragguaglio della morte di Quabacondono, critta dal P. Liugi Frois della Compagnia di Giesù, dal Giappone nel mese d'Ottobre del 1595. Et dalla portoghesea nella lingua Italiana tradotta dal P. Gasparo Spitilli di campli, della compagnia medesima*. In Roma: Appresso Luigi Zannetti, 1598.

アマチ 『伊達政宗遣欧使節記』 ローマ 1615年

1613(慶長18)年、伊達政宗は、家臣支倉常長らをメキシコ・スペイン・ローマに派遣した。本書は、日本地誌や風俗、伊達家におけるソテロの布教活動や功績、使節一行の記録となっている。Amati, Scipione, (生没年不詳). *Historia del regno di Voxu del Giappone, dell'Antichita, Nobilta, e Valore del Svo re Idate Masamune, delli fauori, c'ha fatti alla Christianità, e desiderio che tiene d'esser Christiano, e dell'aumento di nostra santa Fede in quelle parti. e dell'Ambasciata che hà inuiata alla S. tà di N. S. Papa Paolo V. e delli suoi successi, con altre varie cose di edificatione, e gusto spirituale de i Lettori*. In Roma: Appresso Giacomo Mascardi, MDCXV [1615].

ホークス 『ペリー提督日本遠征記』 全3巻 ワシントン 1856年

ペリーが帰国後、監修し、牧師で歴史家のホークスが編纂したもの。第1巻は東方紀行、第2巻は動植物等の研究報告や日米和親条約の締結文書等、第3巻は天体観測の記録で構成されている。

Hawks, Francis Lister, 1798-1866. Perry, Matthew Calbraith, 1794-1858. *Narrative of the expedition of an American squadron to the China Seas and Japan : performed in the years 1852, 1853, and 1854, under the command of Commodore M.C. Perry, United States Navy, by order of the Government of the United States.* Washington: Beverley Tucker, printer, 1856.

林子平 『海國兵談』 全16巻8冊 [出版地不明] 天明6(1786)年自序

林子平は、長崎遊学の際にオランダ人から諸外国の情勢を聞き、日本の国防の不備に危機感を抱いたことから『海國兵談』を著した。幕末の海防論に影響を与え、次第に評価されるようになった。

➤ 西洋の科学

コペルニクス 『天体の回転について』 ニュルンベルク 1543年

千年以上にわたってヨーロッパを支配していた天動説という宇宙観を根本から覆し、地動説を確立した科学史上最も重要な書物のひとつ。見本刷りが出来上がった時にはすでに臨終の床にあったという。

Copernicus, Nicolaus, 1473-1543. *De revolvitionibvs orbium coelestium, Libri VI.* Norimbergae: Ioh. Petreium, 1543.

ガリレイ 『二つの宇宙体系についての対話(天文対話)』 フィレンツェ 1632年

天動説を支持するシンプリチオ、地動説を支持するサルビアアーティ、両者を取り持つ調停者サグレドの3人の登場人物による4日間にわたる対話という形式で、地動説のみを解説することを避けている。

Galilei, Galileo, 1564-1642. *Dialogo di Galileo Galilei Linceo matematico sopraordinario dello stvdio di Pisa : E filosofo, e matematico orimario del serenissimo gr. Dvca di Toscana. Doue ne i Congress di quattro giornate si discorre sopra I due massimi sistemi del mondo Tomemaico, e Copernicano; proponendo indeterminatamente le ragioni filosofiche, e naturali tanto per l'vna, Quanto per l'altra parte.* Fiorenza: Per Gio: Batista Landini, 1632.

ケプラー 『新天文学』 ハイデルベルク 1609年

ケプラーの法則の第1法則(惑星は太陽をひとつの焦点として楕円軌道を描く)、第2法則(惑星と太陽を結ぶ線が一定時間内に描く面積は一定である)が含まれている。

Kepler, Johannes, 1571-1630. *Adtronomia nova aitopgetps, sev physica coelestis, tradita commentaries de motibvs stellae Martis, Ex observationibus G.V.Tychonis Brahe.* Heidelberg: E.Vögelin, 1609.

ニュートン 『自然哲学の数学的原理』 ロンドン 1687年

『プリンキピア』とも呼ばれる。第1巻は真空中の物体の運動法則、第2巻は抵抗のある媒質中の物体の運動法則、第3巻では作用・反作用等、惑星の動きが万有引力の法則で説明できると論じている。これにより古典力学の基礎が完成し、のちの科学史に多大な影響を与えた。

Newton, Isaac, 1642-1727. *Philosophiae naturalis principia mathematica.* Lomdini: S.Pepys, 1687.

フランクリン 『電気に関する実験と観察』 ロンドン 1751年

40歳頃から独学で電気の研究を行い、ピーター・コリンソンに、電気に関する実験報告と、それらの研究に由来する電気一流体説についてしばしば手紙(論文)を送っていた。本書はそれらをまとめたもの。

Franklin, Benjamin, 1706-1790. *Experiments and observations on electricity*. London: E. Cave, 1751.

アインシュタイン 『一般相対性理論の基礎』 ライプツィヒ 1916年

共変性の原理と光速度不変の原理を盛り込んだ特殊相対性理論の発表から11年後、本書においてこの理論を拡張し、加速度運動と重力を取り込んだ一般相対性理論を作り上げた。

Einstein, Albert, 1879-1955. *Die Grundlage der Allgemeinen Relativitätstheorie*. Leipzig: Johann Ambrosius Barth, 1916.

リンネ 『自然の体系』 第2版 スtockホルム 1740年

二名法普及の出発点といえるもの。初版はわずか10数ページの大型本であったが、以後、晩年にいたるまで増補改訂を加えつづ版を重ね、次第に「体系」を整えていった。

Linne, Carl von, 1707-1778. *Systema naturae in quo naturae regna tria, secundum classes ordines, genera, species systematice proponuntur. 2nd ed.* Stockholm: Kiesewetter, 1740.

ジェンナー 『牛痘の原因および効能に関する研究』 ロンドン 1798年

牛痘接種の正確な方法や23の症例を、手彩色の銅板図版4枚入りで自費出版したもの。しかし誤った理解により普及は遅く、徐々に受け入れられた。

Jenner, Edward, 1749-1823. *An inquiry into the causes and effects of the variolae vaccinae, a disease discovered in some of the western countries of England, particularly Gloucestershire, and known by the name of the cow pox*. London: Sampson Low, 1798.

ダーウィン 『種の起源』 ロンドン 1859年

生物の進化は個体の変異と自然界での絶えざる競争、環境への適者生存によってなされるという自然淘汰説を初めて提起した書として、生物学史上最も重要な古典とされている。

Darwin, Charles Robert, 1809-1882. *On the origin of species by means of natural selection, or the preservation of favoured races in the struggle for life*. London: John Murray, 1859.

▶ 参考展示：江戸時代の天文学

井口常範 『天文圖解』 5巻 大坂 元禄2(1689)年刊

日本最初の一般向けの天文学解説書。日本人の天体観や地球観の変遷を探る上で重要な資料。元禄元年(1688年)に著され、翌年刊行。日本で「地球」という語が使われた最古の例ともいわれている。

游子六編、西川正休訓点 『天経或問』 2巻4冊 江戸 享保15(1730)年刊

中国清代の游子六が、イタリア人宣教師から西洋天文学を学び、康熙14(1675)年に出版した天文学書の附訓本。西洋の天動説について紹介のほか、地動説の記述も見られる。

司馬江漢 『地球全圖畧説』 東都 寛政5 (1793)年刊

5大州の図として東西両半球略図、日食と月食、天動説と地動説などを図解入りで説明し、さらに各地の天候・産物などを略記した上、南北両回帰線・極図などにもふれている。

➤ 西洋の思想

モア 『ユートピア』 第2版 バーゼル 1518年

第1編でイギリス社会の現状を批判し、第2編で虚構の理想国ユートピアの制度や習慣を描いた風刺小論である。ユートピアという語はその後、理想郷を意味する一般名詞になった。

More, Thomas, Sir, Saint, 1478-1535. *De optimo reip. Statu, deque noua insula Vtopia, libellus uere aureus, nec minus salutaris quàm festiuus, clarissimi disertis simicbuiiri Thomae Mori in ..., & Vicecomitis. Epigrammata clarissimi disertissimicb uiri Thomae Mori.* Basel: Ioannem Frobenivm, 1518.

マキアヴェリ 『君主論』 フィレンツェ 1532年

成功する政治的指導者は、獅子の獰猛さと狐の狡猾さをあわせもつ必要があると主張した。著者の説は、宗教や道徳から政治を切り離したことで近代国家の政教分離に通じ、近代政治学の基礎を築いた。

Machiavelli, Niccolò, 1469-1527. *Il principe di Niccolo Machiavelli al magnifico lorenzo di Piero de' Medici. La uita di castruccio castracani da Lucca a Zanobi Buondelmonti, & à Luigi Alamanni, composta per il medesimo. Il modo che tenne il duca Valentino per ammazzare Vitellozo, Oliuerotto da Fermo, il S. Pagolo, & il Duca di Grauina discripta per il medesimo. I ritratti delle cose della Francia, & della Alamagna per il medesimo, nuouamente aggiunti.* Firenze: Bernardo di Giunta, M.D.XXXII [1532].

モンテーニュ 『エッセー(随想録)』 全2巻 ボルドー 1580年

1580年に出版し、亡くなる直前まで作品に加筆、修正を続けた。現実の人間や事象を洞察し、人間の生き方を長短さまざまな随想を通して探求した。

Montaigne, Michel de, 1533-1592. *Essais de messire Michel seigneur de Montaigne, chevalier de l'Ordre du Roy, & gentil-homme ordinaire de sa chambre.* A Bourdeaus: Par S. Millanges, Imprimeur ordinaire du Roy, MDLXXX [1580].

グロティウス 『戦争と平和の法』 パリ 1625年

国際法を近代自然法(宗教や国家を超えた人間的理性に基づく普遍的な法)の原理によって初めて体系づけた本書は、後世に大きな影響を与えた。

Grotius, Hugo, 1583-1645. *Hugonis Grotii De iure belli ac pacis libri tres. : in quibus ius naturae & gentium : item iuris publici praecipua explicantur.* Parisiis: Apud Nicolaum Buon, in uia Iacobaea, sub signis S. Claudij, & Hominis Siluestris, MDCXXV [1625].

ベーコン 『学問の尊厳と進歩』 改訂英語版 オックスフォード 1640年

学問の大革新を志し、全6部構成の "Instauratio Magna" という著作を構想した第1部にあたる『学問の進歩』(1605年)を、増補改訂シラテン語で著した『学問の尊厳と進歩』(1623年)の改訂英語版。

Bacon, Francis, 1561-1626. *Of the advancement and proficience of learning or the partitions of sciences IX books, written in Latin by F. Bacon, interpreted by Gilbert Wats.* Oxford: Leon Lichfield, 1640.

デカルト『哲学の原理』 アムステルダム 1644年

『方法序説』(1637年)、『省察』(1641年)につぐ第3の著書にあたり、形而上学と自然学とを体系的にまとめたもの。

Descartes, René, 1596-1650. *Renati Des-Cartes principia philosophiæ*. Amstelodami: Ludovicum Elzevirium, 1644.

ホブズ『リヴァイアサン』 ロンドン 1651年

近代民主主義思想の基本的枠組みである社会契約説を初めて構築した書として有名。人間は平和を作り出すために契約を結び、絶対君主の支配する国家に自然権を譲渡すべきだと主張した。

Hobbes, Thomas, 1588-1679. *Leviathan, or, The matter, forme, & power of a common-wealth ecclesiasticall and civill*. London: Printed for Andrew Crooke, at the Green Dragon in St. Pauls Church-yard, 1651.

ロック『統治二論』 ロンドン 第2版 1698年

1690年に著された2篇の論文から成る政治哲学書。社会契約に基づく生命、自由、所有の権利を守るための国家の形成を説き、名誉革命を理論的に正当化した。

Locke, John, 1632-1704. *Two treatises of government: In the former, the false principles and foundation of Sir Robert Filmer, and his followers, are detected and overthrown. Essay concerning the true original, extent, and end of civil-government*. London: Awnsham and John Churchill, 1698.

モンテスキュー『法の精神』 全2冊 ジェネーブ 1748年

ロックの権力分離論を継承して、権力の恣意性や強圧から個人の政治的自由を守るために三権(立法・行政・司法)分立論を唱えた近代公法学の画期的な著作。

Montesquieu, Charles de Secondat, baron de, 1689-1755. *De l'esprit des loix ou du rapport que les loix doivent avoir avec la constitution de chaque gouvernement, les moeurs, le climat, la religion, le commerce, &c. Tom. I-II*. Geneve: Barrillot et Fils, 1748.

ルソー『社会契約論』 アムステルダム 1762年

政治哲学の著作で、「一般意志」に基づいて、直接民主主義によって統治を行うべきと論じた。本書の版本はきわめて多く、廉価版やペーパーバックであらゆる言語に翻訳されている。

Rousseau, Jean-Jacques, 1712-1778. *Du contract social: ou principes du droit politique, par J. J. Rousseau*. Amsterdam: Marc Michel, 1762.

カント『判断力批判』 ベルリン 1790年

『純粋理性批判』(1781年)、『実践理性批判』(1788年)と並ぶ三批判書の第三批判にあたり、美と芸術について論じている。

Kant, Immanuel, 1724-1804. *Critik der Urtheilskraft von Immanuel Kant*. Berlin: Lagarde & Friederich, 1790.

フィヒテ『ドイツ国民に告ぐ』 ベルリン 1808年

フランス軍占領下に置かれたベルリン・アカデミーの講堂で、計14回にわたって国民に向けて公開講演を敢行。本書は、この一連の講演の内容を出版物としてまとめたもの。

Fichte, Johann Gottlieb, 1762-1814. *Reden an die deutsche Nation*. Berlin: In der Realschulbuchhandlung, 1808.

スミス『国富論』全2巻 ロンドン 1776年

第5版(1789年)まで改訂が繰り返され、特に、第3版(1784年)では大幅な改訂が行われた。展示本は、初版。本書は、当時ヨーロッパで支配的だった重商主義の保護統制政策に反対し生まれたものである。

Smith, Adam, 1723-1790. *An inquiry into the nature and causes of the wealth of nations*. London: Printed for W. Strahan, and T. Cadell, in the strand, 1776.

マルサス『人口論』第2版 ロンドン 1803年

楽観的な平等社会の構想に対する批判をまとめたもの。1798年の初版から1826年の第6版まで改版が繰り返された。第2版以降、人口対策として道徳的抑制を推奨し、悲観的結論が緩和されている。

Malthus, Thomas Robert, 1766-1834. *An essay on the principle of population ; or, a view of its past and present effects on human happiness ; with an inquiry into our prospects respecting the future removal or mitigation of the evils which it occasions. A new edition*. London: J. Johnson, 1803.

リカード『経済学および課税の原理』ロンドン 1817年

第1部:政治経済学の原理、第2部:課税の原理、第3部:補論的性格を持つ論争的諸章の3部より構成される。イギリス古典派経済学の集大成としてマルクスにも大きな影響を与えた。

Ricardo, David, 1772-1823. *On the principles of political economy and taxation*. London: John Murray, 1817.

J.S.ミル『経済学原理』全2巻 ロンドン 1848年

富の生産は、歴史的、社会的な変化の根底を一貫する不変の法則によって支配されるが、富の分配については、人間の力で変更することの可能な制度に関わるとし、制度設計の重要性を重視している。

Mill, John Stuart, 1806-1873. *Principles of political economy with some of their applications to social philosophy*. London: John W. Parker, 1848.

エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態』[初版第2刷]

ライプツィヒ 1848年

18世紀末から19世紀前半にかけてのイギリスの経済的社会的激動の全体像が描きだされ、本書以降、「産業革命」という名称が広く用いられるようになった。イギリス産業革命史の重要な資料的価値を持つ。

Engels, Friedrich, 1820-1895. *Die Lage der arbeitenden Klasse in England. Zweite Ausgabe*. Leipzig: Otto Wigand, 1848.

マルクス『資本論』全3巻 ハンブルク 1867 - 94年

当初4部からなる構想であったが、著者が生前に刊行できたのは、第1部に当たる第1巻だけであった。第2部、第3部に当たる第2巻、第3巻は、著者の死後、エンゲルスの編集によって刊行された。

Marx, Karl, 1818-1883. *Das Kapital : Kritik der politischen Oekonomie*. Hamburg: Otto Meissner, 1867-94.

マルクス「自筆書簡」 1871年3月31日付 パリ国際労働者協会宛

マルクスの自署のあるこの書簡は国際労働者協会からパリの同協会に宛てたもの。『タイムズ』紙に対する批判がその内容である。1871年の4月8日付の『ウェルカー』23号に掲載された。

ケインズ『雇用・利子及び貨幣の一般理論』 ロンドン 1936年

不完全雇用下における雇用量決定の理論を具体的に提示した経済学史上最初の著作。「ケインズ革命」と呼ばれるほど大きな影響を与えた。

Keynes, John Maynard, 1883-1946. *The general theory of employment, interest and money.* London: Macmillan, 1936.